

テレビ音声の聴けるラジオの開発状況について

1 開発状況

放送関連機器製造メーカー2社が、製品の開発に取り組んでいる。両社ともに、1次試作機の開発は完了しており、日本盲人会連合会等において試用を行った後、そこでの意見を踏まえて、仕様を確定。今夏を目途に製品として販売が可能となる予定。

2 仕様案

(1) 主な機能

- ・ A社
ワンセグ音声受信装置、音声ガイダンス、スリープタイマー、音声モード切り替え機能 など
- ・ B社
FM・AM・ワンセグ音声受信装置、音声ガイダンス、音声モード切り替え機能、各機能ボタン点字表記、緊急地震速報機能 など

(2) 連続使用時間 例 12時間

(3) 外寸、重量

- ・ A社
約140ミリメートル×72ミリメートル×30ミリメートル、約260グラム
- ・ B社
約170ミリメートル×110ミリメートル×45ミリメートル、約450グラム

3 販売予定価格 未定

4 政府等からの開発支援

独立行政法人情報通信研究機構における平成23年度「高齢者・チャレンジ向け通信・放送サービス充実研究開発助成金」の対象事業又は厚生労働省における平成23年度「障害者自立支援機器等開発促進事業」の対象事業として、開発に必要な資金の一部の助成を受けている。